



お気軽にお問い合わせください。



高気圧酸素 治療装置 更新しました。

岡村一心堂病院では、2003年の機器導入から多領域での高気圧酸素治療の症例実績を重ねてまいりました。この度、機器の老朽化にともない現行の最新機種であるセクリスト Model 3300HJへと機器更新を行いました。

治療のご紹介 [保険適用疾患]

減圧症、空気塞栓、急性一酸化炭素中毒その他のガス中毒、重症軟部組織感染症又は頭蓋内膿瘍、急性末梢血管障害（重症熱傷/凍傷、広汎挫傷、コンパートメント症候群又は圧挫症候群）、脳梗塞、重症の低酸素脳症、腸閉塞、網膜動脈閉塞症、突発性難聴、放射線又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍、難治性潰瘍を伴う末梢循環障害、皮膚移植、骨髄炎又は放射線障害 など



<循環器内科>

理事長・院長 岡村 暢大



<外科・消化器外科>

副院長 正木 裕児

癒着性腸閉塞/ガス壊疽などの重症嫌気性菌感染症/一酸化炭素中毒

高気圧酸素療法（HBO）は様々な病態に有効な治療法ですが、外科領域では手術後の癒着性腸閉塞や重症感染症（嫌気性菌による）に対して活用されます。また一酸化炭素中毒の治療には欠かせない手段であり、神経学的後遺症を残さないためにも速やかな治療開始が大切です。



<耳鼻咽喉科>

医師 木崎 久喜

突発性難聴
骨髄炎又は放射線障害

耳鼻咽喉科領域で高気圧酸素治療を行う疾患には突発性難聴と放射線性（下顎）骨髄炎があります。前者では高度難聴の方を対象に主に入院して行います。後者では大学病院等の口腔外科から難治性の方を紹介され、口腔外科の治療との組み合わせにより、主に通院で行っています。いずれも1日1回行い、上限は30回です。



放射線又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍

骨盤内悪性腫瘍に対する放射線療法の晩期合併症のひとつである放射線性出血性膀胱炎は極めて難治性で時には致命的になります。疾患の本質は低酸素状態にあり、高気圧酸素療法により血液、組織の酸素分圧を上昇させ低酸素状態を改善し組織の修復能力を高めます。

<泌尿器科>

医師 賀来 春紀